



第7回上田八木・金融政策サーベイ(2016年10月)の結果について

～次回MPMでの金融政策不変の見方が過去最大(98%)。金利見通しは横這い。
10年国債金利予想DIは初のプラス(+9)。

発表日:2016年10月28日(金)
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

- 10月31日～11月1日の金融政策決定会合においては、不変を予想する先が98%と調査開始以来最も多くなり、追加緩和を予想する先は2%と調査開始以来最も低い数字となった。
- 金利見通しについては、3か月先の無担保コールON金利DI(「上昇」-「低下」)が▲4(前回▲61)。10年国債金利DI(「上昇」-「低下」)は調査開始以来初めて上昇が低下を上回った(+9)。
- 前回から市場の先行き金利観が大きく変化していることを示唆する結果となっている。

【調査の概要】

調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(202先)
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2016年10月25日～27日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	97.0% (回答者数196 先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

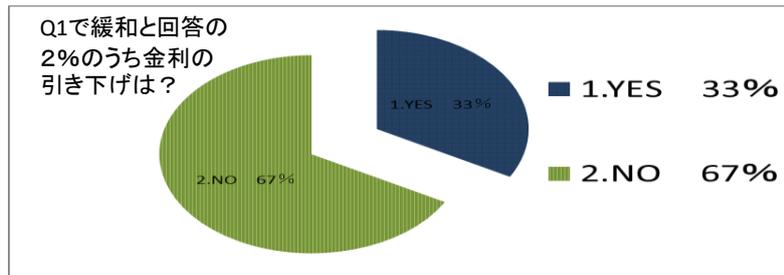
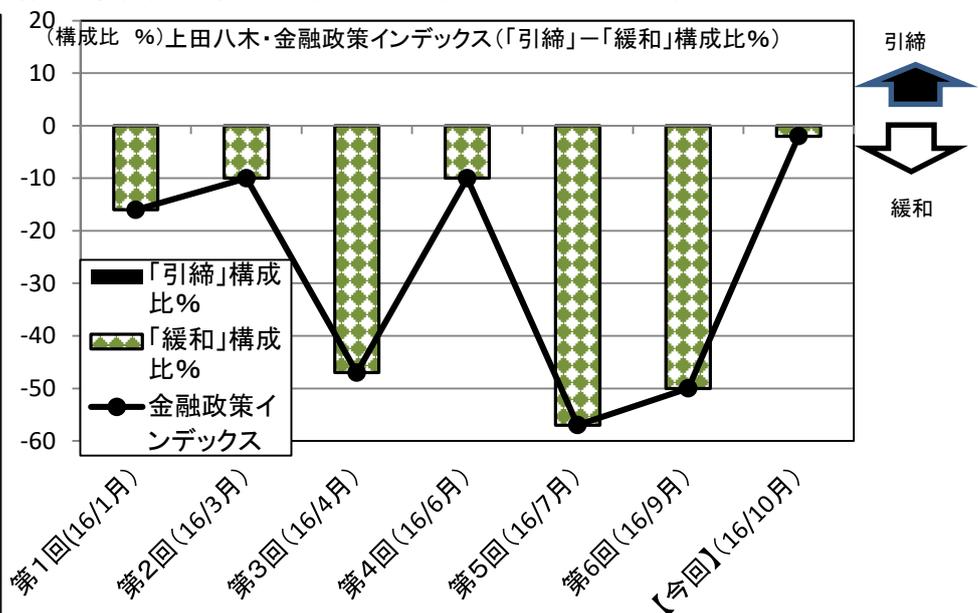
(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(10月31～11月1日)における決定について

回答者全体の2%が「緩和」とみている。「不変」とみる先は98%だった。「引締」を予想する先はなかった。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、▲2と、前回対比48%ポイント上昇となった。

前回(9月調査)との比較では、「緩和」とみる先は▲48%ポイント(前回50%→今回2%)。「不変」とみる先が+48%ポイント(前回50%→今回98%)。「上昇」とみる先が0%ポイント(前回0%→今回0%)。

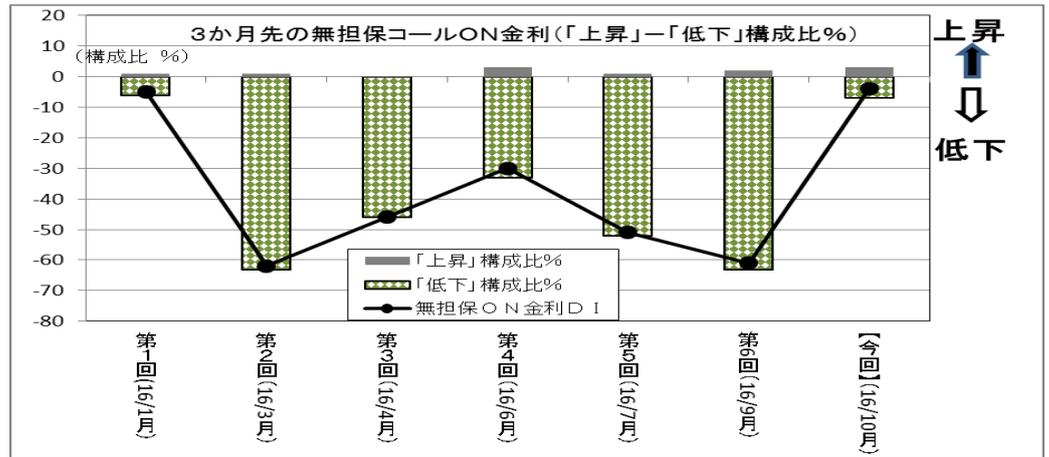
【今回緩和と回答した方について】金利引き下げの有無について回答を求めたところ、33%の先が引き下げありと回答。



(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の7%が「低下」を予想。「不変」の先は90%、「上昇」とみている先は3%だった。

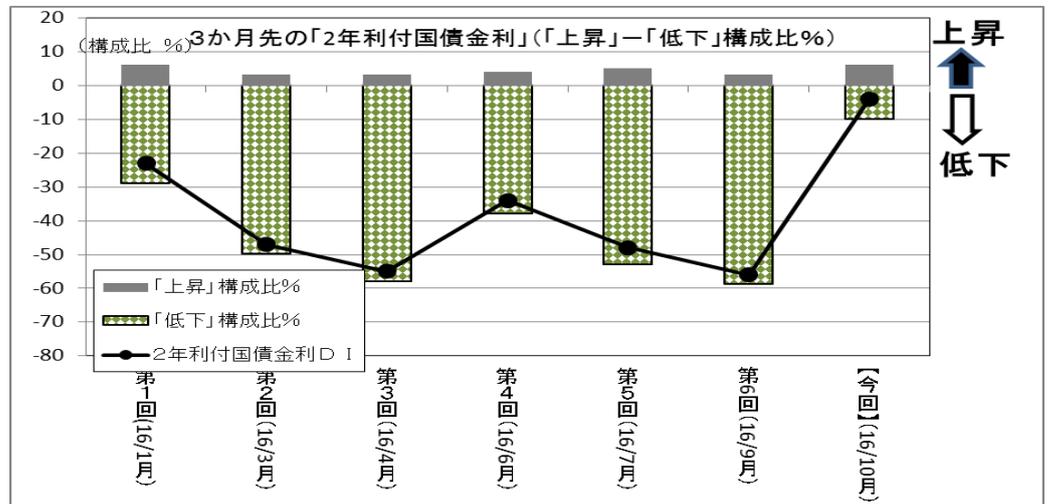
前回(9月調査)との比較では、「低下」とみる先は▲56%ポイント(前回63%→今回7%)。「不変」とみる先が+55%ポイント(前回35%→今回90%)。「上昇」とみる先が+1%ポイント(前回2%→今回3%)。



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の10%が「低下」を予想。84%が「不変」とみている。「上昇」を予想した先は6%であった。

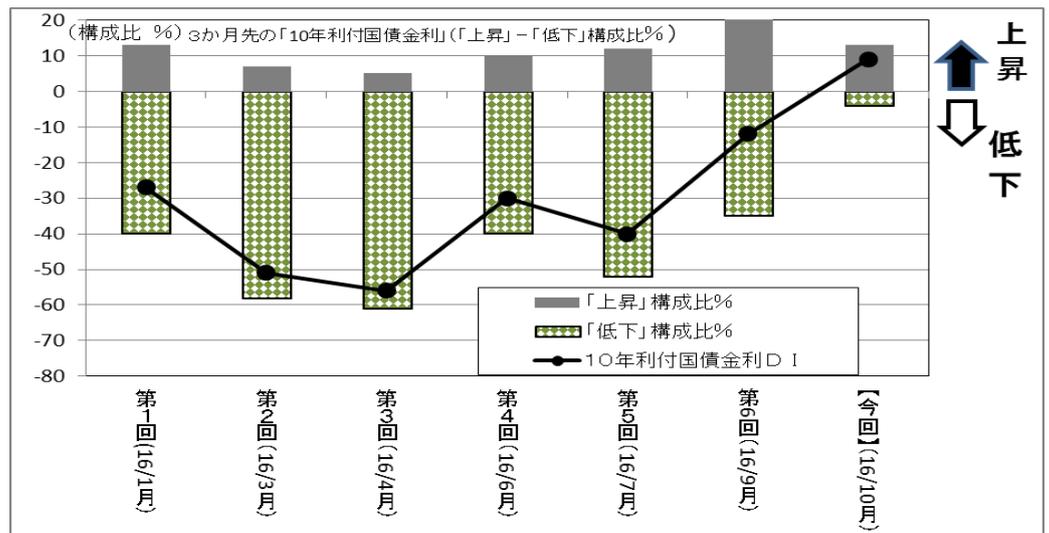
前回(9月調査)との比較では、「低下」とみる先が▲49%ポイント(前回59%→今回10%)。「不変」とみる先が+46%ポイント(前回38%→今回84%)。「上昇」とみる先は+3%ポイント(前回3%→今回6%)。



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の4%が「低下」を予想。83%が「不変」とみている。「上昇」を予想した先は13%。この結果、DIは過去7回で初めてプラス値となった。

前回(9月調査)との比較では、「低下」とみる先が▲31%ポイント(前回35%→今回4%)。「不変」とみる先は+41%ポイント(前回42%→今回83%)。「上昇」とみる先は▲10%ポイント(前回23%→今回13%)。



【本調査に関する照会先】

企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)

